

世界の電気通信標準化機関が参加する第20回世界電気通信標準化協調会議 (GSC-20)が、2016年4月26日(火)～27日(水)にインド・ニューデリーで開催された。GSC-20では、戦略トピックスの一つとして5G関連のセッションが行われ、7団体からの発表に引き続き9団体に参加して5Gに関わるパネルディスカッションが行われ活発な議論が行われた。

GSC(Global Standards Collaboration)会合は、世界の電気通信標準化機関の代表者及び専門家が、ICTに関する標準化活動についての情報交換を行うとともに、各標準化機関(SDO)における検討の重複を避け、グローバルな標準化を促進するためのSDO間の協調と連携の戦略を検討するために年一回開催される。今回の第20回会合では、GSCメンバー12機関92名、及びゲスト11機関12名の計104名が参加。各SDOやタスクフォースの最新状況の報告に加え、戦略的トピックスの一つとして5G関連セッションが開催された。

5G関連セッションの状況：

- 本セッションでは、ARIBはじめ7団体のプレゼンのあと、パネルディスカッションが行われ、ファシリテータから冒頭に5Gの進展に伴い制御／管理プレーンにおける異種無線／有線網の統合がますます重要になってきているとの指摘があり、4つの質問が設定された。討論では、5Gの枠組みの中でIoTの規格と技術が協調・進化して行けるか、5Gは発展途上国にどのような影響を与えるか、等について活発な議論が行われた。
- ARIBからは、5GMF技術委員会の中村委員長代理（富士通）より、2020年に向けた5GMFにおける最新の活動状況が紹介された。



5GMF技術委員会中村委員長代理(富士通)